



地に足がついた  
生き方を

横浜市 高橋明達様

先日は禅の本をいただき有難うございました。早速読ませていただきました。私には特に「修証義に学ぶ」が興味深いものでした。「いまここに生きる」ことは私にとっても課題として続いています。總持寺日曜参禅会や他の瞑想会を通して、今、ここにあることが安らぎ、心身の健康の源であり創造性をもたらしてくれる最も大切で尊いことと感じておりました。ところが、

日常の中で而今にあることは不可能とも思えたりします。先の事を心配して、不満を感じ少しもここにはいません。只管打坐は坐っていない時にも坐禅の生き方をする事だと思いますが、私のように少ない坐禅経験でしかも幸福を得たいなどと下心であっては遠い話に思えます。それでも放棄することは出来ず求めている自分がいます。生死の問題はその時が来たら自信はありませんが、霊に死はないと信じていますので気になりませんが、今生をいかに生きるか、何故こんな生き方をしてしまうのか…という所が辛いので

す。

修証義の解説をいただき理解しました。少しすつきりしました。悟りは得られるにしても死にものぐるいの結果である。日常の信仰生活の指針の修証義が懺悔滅罪 受戒入位 発願利生 行持報恩で示す内容の厳しさは私に教えてくれました。発心も無く安易に結果を得ようとするこのこと自体が問題を作っていることが分りました。今自分のできること、目標にして努力できることだけを考えるべきだと感じました。十重禁戒にはそのつもりであることが挙げられています。必要になつたら又読

はいません。これを日常に実践することだけを考えようと思いません。忘れていたり、出来なかつたことに気が付いた時には反省し静かに坐つて仏に手を合せ「忘れないように声をかけて下さい」と願い、出来た時には「見守つて下さり有難うございました」と感謝する。これだけを実行します。次の段階に今生では進めなくても問題では無いと思えます。というより考える必要は無いような気がします。今自分に出来る事、今の自分に合っている事を大切に地に足が付いた生き方をしたいと思

み返して感ずる事を実践します。長々と大へん失礼しました。おかげ様で大きなきつかけが得られました。十戒を通して自分を見つめて行きま

す。どうも有難うございました。

**黒田方丈の心意気**

北海道苫小牧市

清水賢一様

たび重なるお願いを申し上げます。早くも拘らず早速お聞き届けくださいまして、『成寿』二五号をご惠贈くださいまして、たいへん有難うござ

いました。頂戴した書籍小包を勤務先から帰って開封し、息もきらずに読み始めとうとう十一時になってしまいました。

ばばこういち氏の「ある住職の壮大な実験」で、「寺を地域社会のコミュニティセンターの場所として位置付け……」に黒田方丈の心意気を感じました。また「現代仏教の在り方が厳しく問われている」という証だと感じています」といってお考えは、『中外日報』で紹介されていた、長谷川孝氏の『オウム真理教Q&A』曹洞宗の立場から」を読んで感じたこと」で「これ

に応えることで初めて、宗派としての『立場』の表明になる、と言えるように思われます」にも通ずることだと存じました。

また前角ご老師の努力によってアメリカ布教が成就したことも伺えました。どちらも心意気と努力以外の何者でもないことを十分に知らされました。東隆眞先生をはじめ、駒澤大学竹友舎の耕雲閣にいたとき副寮監としてご指導くださった鈴木格禅先生の惜別の辞も拝読いたしました。曹洞宗は本当に惜しいご老師を失ったのだと存じ、心からご冥福をお祈りいたします。

とくにお願いを申し上げた「駒沢女子大学特集」が第一回の特集であったとのこと、バスで伺ったことは何回かありましたけれども、上空からの全景写真は初めてで、その偉業を伺わせて頂きました。ほんとうに有難うございました。末筆になりましたが、貴寺のご法縁がますます流布いたしますことをお祈りいたします。

充実した誌面に敬服

茨城県つくば市

竹村牧男様

日頃御無沙汰いたし申し訳

ございません。小生、少し海外に出たいとも思っています。が、学内の事情もあって果せず、今は、毎月奈良の興福寺に二年ほど出向しなければならぬので、しばらくはじつと我慢しなければならぬと思います。やや残念に思っています。御任職様には、かつていろいろ御配慮賜り、その御厚情に深く感謝いたしております。

『成寿』ありがとうございます。充実した誌面で敬服しております。今後のさらなるご発展をひとえに祈念申しております。小生は秋月竜民先生の弟子ですが、秋月先生

は前角博雄老師をととても親密に思われているようです。かつて『中外日報』で老師の遷化のを知り、秋月先生に申し上げたとき、とても淋しそうにされていました。現在秋月先生は自宅で療養中です。

『大乘禅』では、大拙遷化三十周年を記念し、この九月号に大拙特集号を組みました。

それでは時節から呉々もご自愛専一になされますようますますの御活躍をひとえに祈念申し上げます。

「輪の光り」

神戸市 高光幸順様

早速にもお願い申しあげた要項を御送付下さりまして、誠にありがとうございます。

設立趣意書を拝読させていただき、全く自分の心の在処をそのまま写す鏡を観る思いで選びましたこの道への決意を新たとする感動を覚えております。昨年、タイ国にて卒業論文のために実施しました僧侶方へのアンケート調査で歩き回りました時に、そのお陰で親しくなることができました

タイ僧侶方とのその交流を、その種を、更にこれからは参禅を通じて育むことができたなら、という願う思いでいっぱいでございます。

また、留学僧名を拜見させていただき、カンボジアでお出会の機会をいただき、その後はカンボジアへ参ります時は必ずお訪ね申しあげる懐かしい御方の御名前があり驚きました。頂きました要項の設立趣意書、目的等に、今ひとしお静かに燃えております。選考試験にかなわぬまでも、どうぞ今後とも是非とも、ご教示願ひ、何かお手伝いなり、学ばせていただく「輪」

を頂けるならばという思いしきりでございます。

まだ、ほやほやの僧侶になりたての若輩者で何も分かりませんが、こういう活動のあったこと、善光寺様の存在を知り、何か「輪の光り」のようなものを感じます。

ありがとうございます。

姑を看取つて

栃木県大田原市

磯 紀子様

ご無沙汰しております。何度ご本を頂いたことでしょうか。お礼の言葉も差し上げず失礼の限りを心よりお詫び申

し上げます。

実は私方、去る六月二十五日、磯の母を亡くしました。七年間の闘病生活でしたが、幸い子供が多く近所におりましたものですから病院に預けることもなく、自宅で看病看護ができて子供一同心残りなくあの世に出せたと自負しております。

一口に七年と言いましてもいろいろなことがありました。でも、私も生みの親同然に接することができ、毎日顔を見るのが楽しみだったのは何の力だったのだろうかと今さらながら不思議です。

亡くなる前の晩は私が泊ま



でした。戦後五十年、いつのまにか物の時代となり家の中に物が有り過ぎる今日です。二十一世紀は益々流れの速い時代に入り、心が大切になると思います。

寺に来た時は広い空、風と、清い空気をたくさん吸って、少しでも時の止った時間を作り、心の平和を寺から持ち帰られるようにと願って、お寺を守っております。

ご一緒にタイに行ってから一年経ちます。父は今も私の顔を見るとタイの話をしませ。果物の味、ホテルの庭で河風に髪をなびかせて食べたバーミナムの味、なつかしく、

今でも頭の中で味わっています。私の人生観を変えたタイ、あの穏やかで優しい人たちが大好きです。あまりに変わってしまったバンコクでしたが、チェンマイは昭和四十五年当時のバンコクの空気そのものでした。心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

### 心の豊かさ

横浜市 野田忠行様

七月十七日に出発し、ドイツ、ポーランドで合気道、仏足法を伝道し、スリランカで

は占星術師の友人と再会、一週間滞在。ネパールでは五月に予定の日本舞踊団のホテルの選定や、私が個人的に設立した識字学校の視察で実に充実した時を過ごしました。ネパールにはもつと学校を作るように種々話し合いを進めてきました。貧困で学校に行けない子がなんと多数いることでしょう。日本人の役目と考え、これから一層努力したいものです。giveすれば心の豊かさをgivenされる。そうです。住職のおっしゃる心の豊かさ、ひいては仏性が磨き出されるのです。

ポカラ市にカトリック教会







寒山转苍翠，山色有无中。